

# 京都総評

京都  
総評

京都地方労働組合総評議会：発行

第 311 号

発行所  
京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階  
京都地方労働組合総評議会（京都総評）  
電話 075 (801) 2308 FAX 075 (812) 4149  
E-mail sohyo@labor.or.jp URL https://www.labor.or.jp/sohyo/  
〈発行責任者〉 梶川 憲 〈編集責任者〉 上野 広光

京都労働相談センター

電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp

主な日程

## 京都総評 第99回 臨時大会

1月31日(土) 13:00~

ラポール京都ホール

※各単産・地区労協より大会運営委員を1名選出し、当日は12時20分に4階第12会議室にお集まりください。

## 京建労 創立75周年 記念事業



2025年9月に公開し、秋の大運動では幹部学習に加え、次世代役員の研修でも活用がすすんでいます。京建労のYouTubeチャンネルでも一般公開されています。

また平和や首長選挙、

# 過去を振り返り学び深める 京都の活動の歴史の記録

創立75周年を迎えた全京都建築労働組合（京建労）。創立75周年記念事業で、2つのイベントや、学習資料としての「映像で振り返る京建労の75年」「京建労デジタルアーカイブス」を京建労のYouTubeチャンネルや、SNSで配信し、学習や交流、団結を深める事業を展開しています。

### 「家族とともに」 京建労らしい取り組み

京建労では2025年度を「創立75周年イヤー」として、さまざまな事業を行っています。その中でも大きなイベントが2025年8月に行なった「スマイルバスケット」と、2月15日に行われる「75周年フェスタファミリーデー」です。「スマイルバスケット」は、京都ハンナリーズとのコラボ企画として、小学生を対象にバスケット教室を開校。170人の組合員や家族が参加しました。



「映像」と名にあるように、1960年代初頭から編集部が運動シーンを記録していた、8mmフィルムやVHSなどをデジタル復元し、どんな仲間でも京建労の歴史を学べる設えにしました。

「映像」は、伏見区の京都パルスプラザ大展示場を中心とした形式で行われ、全20支部が出店する模擬店や「多国籍キッチンカーコーナー」など、組合員と家族が交流できるイベントです。「家族とともに」をテーマに歩みをすすめてきた京建労らしい取り組みをめぐっています。

現在では仲間から提供された8mmフィルムや、1960年代の日雇健闘争時などに作成された「オートスライド・トーカー」のデジタル保存にもチャレンジしています。

「過去を振り返る」には多大な余力が必要です。京建労は創立100周年に向けて過去を検証し、学びを深めながら前進を続けていきます。（京建労・常駐執行委員 川西 憲）

映像で振り返る京建労の75年プレイリスト



▲京建労デジタルアーカイブス



## 京都総評新春旗開き

あけましておめでとうございます



梶川憲議長

新年のごあいさつ  
京都総評議長 梶川 憲  
分断と自己責任から団結と連帯へ、格差と貧困から一人ひとりの人間を大切に

迎えました。トランプ政権によるベネズエラへの武力行使は、理由のいかんを問わず国連憲章に反する暴挙であり、軍拡と戦争への道を京都で具体化させない決意を新たにします。今年こそユニオンパワーを発揮し、賃上げと人間らしい働き方を前進させたい。失われた30年の被害は個人の責任ではなく、非正規労働者や女性に矛盾が集中してきました。今春闘は、失ったものを取り戻し、賃金が上がり、ジェンダー平等が進む社会をつくる闘いです。命と暮らしを守る公共の役割を果たす力になりた。現場での闘いに市民と力を合わせる労働組合の順番。大企業や富裕層に偏る富を再分配し、労働者・市民が主役の政治を実現する第一歩として、北陸新幹線延伸計画見直しの要求をはじめ、京都府知事選挙に挑み、元気な一歩を踏み出すことを呼びかけます。

# これ以上、黙っていられない

5月30日、宇治市伊勢田町にある、医療法人千照会・千原眼科医院（1993年4月開業。手術件数では京都南部で最大、特に難治緑内障では全国から患者が来院。従業員41名、京都府HPより）で労働組合が結成され、京都医労連30番目の組合として加盟しました。

「低い賃金なのに、これ以上手当が下がるなら、これ以上意味がない」と危機感と怒りから組合結成を決意、医労連に相談しました。結成当日の30日、医院近くのファミレスに5人が集まり、代表者を決め、①手術手当の従来支給、②一方的な不利益変更の禁止、③退職金計算方法の明確化を要求事項として決定しました。6月5日に初の団体交渉を開催。ドキドキしながらも、現場の実態を訴え、現行通りの支給を求めましたが交渉は

平行線。7月18日の文書回答では、「手術に直接関わった者だけに支給し、リカバリー・外回り・フリー業務には段階的に支給をしない」という案（10月1日施行予定）が示されました。その後、9月2日と10月29日に院長を団交の場に出席させ、労働時間の適正な記録と善、「リカバリー・外回り・フリー業務」の削減期間を2年間から3年間に延長させています。削減を撤回するために12月23日に団体交渉を実施しましたが解決していません。今まで千原眼科は、働きやすい環境で、所属するスタッフは10年〜20年と長く働き、労働に見合った賃金が支給されてきました。今後も労働条件による退職者をたさず、働き続けられるよう職場を守りたいと奮闘しています。



# STOP雇用止め! 「3年公募」廃止キャンペーン

12月22日、京都府職労は会計年度任用職員の3年公募廃止を求め、年末交渉を実施しました。交渉には、10名を超える会計年度任用職員が参加し、次々にマイクを握りました。

「3年公募で履歴書や小論文を求められるたびに、経験を認められないと感じる。自分を否定され、どんなに努力しても使い捨ての存在ではないと感じてしまう」「正規職員から引き継

いだ業務を担当し、誇りと責任をもって仕事を進めている。生活が懸かって働いており毎年ぎりぎりまで4月からの雇用があるかわからないことが不安。人としての尊厳を踏みにじられる気持ち」切実な訴えに寄り添い、3年公募は廃止すべき」と府職労が迫りました。これに対して、府職員長は「3年たった段階で他の人が参入しておけるようにしておく必要がある。3年公募を撤廃し

て不安は解消しないので、来年の働く場所の有无を早くお知らせすることが一番重要」などと従来の発言を繰り返しました。「人事院の考え方に沿って、現場の判断により、公募による再採用をできる選択肢を」との府職労提案にも耳を傾けず、3年公募の立場に終始しました。「キャンペーンチーム」は交渉前

1万人超の署名を渡す会計年度任用職員の組合員

乗って眺めてとにかく楽しいダートカブ

京都総評&京都市職労 上野 広光

MY 推し活 のすすめ

推し活を晒すにあたり午年にちなんでのお馬さんorバイクで悩んだ末、観戦の方ではなく乗る方に。自慢の相棒は125ccで90年代のHONDA Aスーパークラブをベースにワンオフ・フルカスタムした「ダートカブ」(制作したIbatoroさんの代表作)。溶接跡も芸術的に見えるローカラーで、エンジンは試乗を重ねて選抜された中華製が、これがめちゃくちゃ速いです。近畿圏内のスポットめぐりや、乗り入れできるキャンプ場でcottageを挽き、愛車を眺めながら癒し時間を過ごしています。春のぬくもりを待つ日々です。

あなたの「推し」教えて!  
趣味やマイブーム、推し活の紹介をしていただける方を募集します。名前・所属と合わせて、画像、タイトル、100~200字程度であなたの推し活をアピールしてください。掲載された方には図書カードを贈呈します。応募はこちらまで▲

## 第24回 京都総評 青年部 定期大会

### 新体制でスタート

2025年12月14日に第24回京都総評青年部定期大会を開催。JMITU、医労連、京教組、京建労、化学一般、京都放送の5産別14人の青年と、来賓に全労連青年部の稲葉事務局長が参加しました。活動報告や方針・次期役員体制提案を行った後、議案討論を行いました。



## 青年部 女性部 定期大会開催

12月13日、女性部定期大会をオンライン併用で開催。保育体制もつくり24人が参加しました。あいさつを兼ねたミニ学習会では、柳生事務局長が「最低賃金とは?」をテーマに男女賃金格差、女性労働者の働き方などジェンダー課題にもふれて話しました。議案提案の後、全体討論と少人数グループで学習会の感想やそれぞれの組合活動などを交流しました。賃上げの課題や深刻な人員不足の職場実態、会計年度任用職員の

## 第35回 京都総評 女性部 定期大会

キャンペーンなどが行われました。「女性にとって最賃とは何か」を深めて、自分事として考えられたことを力に、春闘でも官民で交流しながらより活発に取り組んでいきます。

## 京都放送労働組合 AM放送停波に反対する闘い



京都放送労働組合は、リスナーの「知る権利」を守るため、AM放送停波に反対する闘いに全力で取り組んでいます。KBS京都は昨年8月、ラジオ事業の収支改善を理由に、滋賀県彦根市に送信所を休止し、AM放送を停波して国のFM化実証実験に参加する方針を表明しました。これにより、彦根地域などでAM放送が聴取できなくなりました。

## 京都総評 府・市予算要請実施

12月23日の午前と午後、京都府と京都市に対する予算要請を実施しました。すべての労働者の賃金改善につながる施策の実施を要望。最低賃金を底上げするために行政として事業者への直接的な実効性のある支援を要求しました。

た市民集会には、会場いっぱいの22名が参加し「AM放送を止めるな」「知る権利を奪うな」で、署名はわずか3カ月、KBSの姿勢を厳しく批判しました。この声に勇気づけられ、闘いへの確信を深めています。停波断念の明言はありませんが、世論で包囲して、組合は「リスナーの知る権利を必ず守る」と決意します。

「知る権利を奪うな? 自分事から力に変えて」